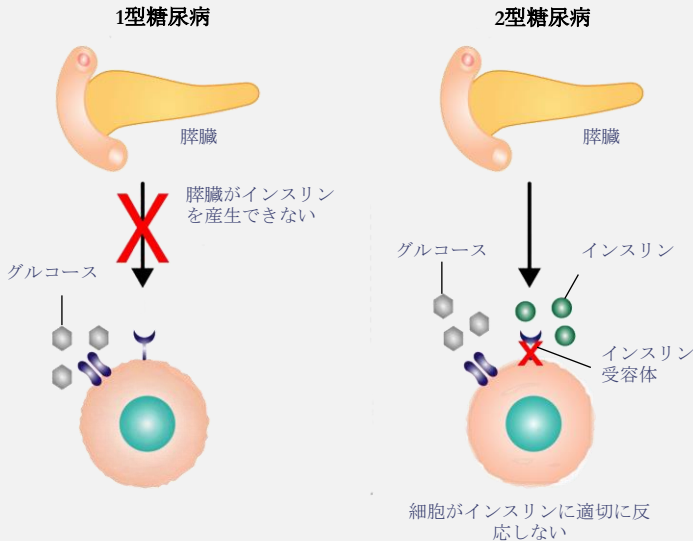


1型・2型 糖尿病 と 幹細胞 治療



1型・2型糖尿病

糖尿病は、血糖値が異常に高くなる状態を引き起こす疾患です。糖尿病には、主に2つのタイプがあります。



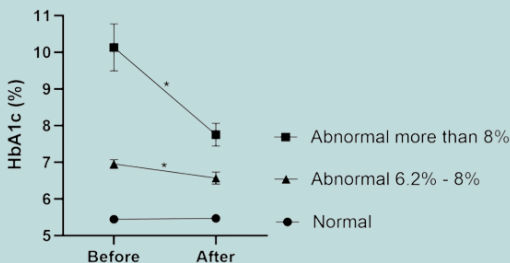
- 1型糖尿病 (T1DM)
体の免疫システムがインスリンを生成する細胞を攻撃・破壊する、終生にわたる疾患です。糖尿病全体の約10%が1型糖尿病です。T1DMの患者は、生涯にわたりインスリン注射を受ける必要があります。
- 2型糖尿病 (T2DM)
T2DMでは、体内の細胞がインスリンに適切に反応しない (インスリン抵抗性とも呼ばれます) か、または膵臓から生成されるインスリンが体の必要量に満たない (インスリンの生成量が少ない) 状態です。T2DMはあらゆる年齢で発症する可能性があります。特に40歳以上の人に多く見られ、糖尿病全体の約90%を占めます。

血糖降下薬は血糖値の管理には有効ですが、糖尿病の合併症を予防したり、既に発症した合併症を逆転させることはできません。慢性的な高血糖は、終末糖化産物 (AGEs) の生成を引き起こし、血管細胞に損傷を与えます。この損傷は神経周囲の微小血管に影響を及ぼし、酸素や栄養素の供給不足を招く結果、感覚喪失、筋力低下、バランス障害などの機能障害を引き起こします。糖尿病性足病変は、これらの一般的な合併症の一例です。

HELENE 幹細胞治療の力

- 静脈内投与
- HbA1c値の低下
- 糖尿病合併症の改善

MSC treatment on HbA1c change



- 当院の治療一部統計結果によると、HbA1cが8.0%以上の重度の2型糖尿病患者に対して治療を行うと、HbA1c値は約7.8まで迅速に低下する傾向が見られます。
- また、HbA1cが6.2~8.0%の中等度の2型糖尿病患者においては、HbA1c値が緩やかに低下します。
- 一方、HbA1cが4.0~6.0の正常範囲にある患者に幹細胞の静脈内投与を行った場合、HbA1c値に有意な変化は認められませんでした。

HELENEクリニックでは、間葉系幹細胞 (幹細胞) の再生能力を活用し、1型糖尿病 (T1DM) の治療に取り組んでいます。当院の幹細胞療法は、膵臓のベータ細胞の再生を促進し、インスリンの産生を回復させるとともに、免疫系によるさらなる破壊を抑制することを目的としています。

2型糖尿病 (T2DM) に対しては、幹細胞療法がインスリン感受性の改善、グルコース取り込みの促進、炎症の軽減を通じて、神経障害や創傷治癒不全などの合併症に対処するための組織再生を促進します。

また、当院の治療アプローチは、膵細胞の炎症を緩和し、インスリン抵抗性を調節することで、神経成長因子 (NGF) や血管内皮成長因子 (VEGF) など、幹細胞が分泌する因子の効果を最大限に活用し、血管新生を誘導し、神経再生を支援します。これにより、糖尿病性多発神経障害の改善に寄与します。

